

平成30年度 地域国際化ステップアップセミナー in 四国

国際協力で地域活性化

～地域の強みを活かした、持続可能なまちづくりと国際協力の輪～



SDG 目標11住み続けられるまちづくり

■ 日 時:平成30年11月7日(水) (受付12:30～)13:00～17:20

■ 会場:COMS<松山市男女共同参画推進センター> 5階 会議室5

〒790-0003 愛媛県松山市三番町6丁目4番地20

アクセス

JR松山駅前→南堀端下車(伊予鉄道):電車5分+徒歩5分

松山市駅(伊予鉄道):徒歩10分

バス:コムズ前下車徒歩1分

<http://www.coms.or.jp/access/index.htm>

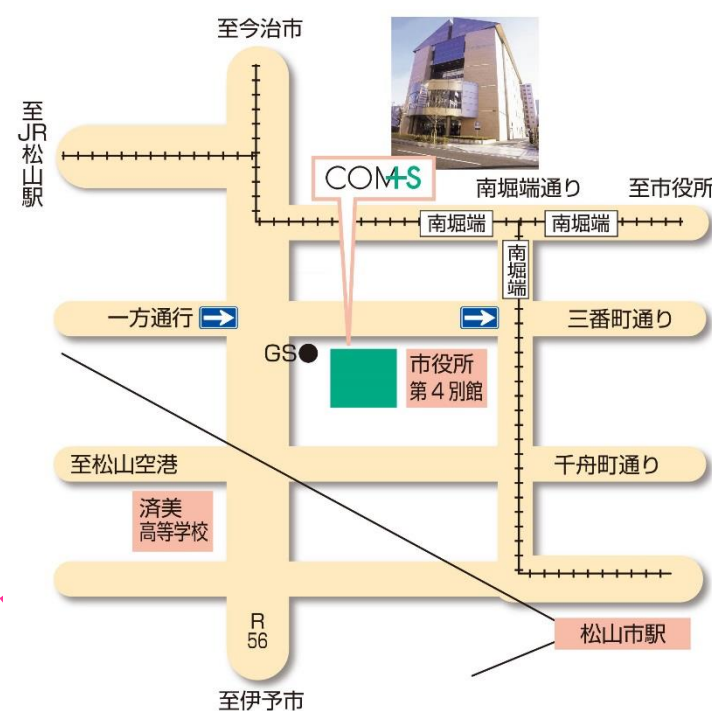
- 対象:50名(先着順。定員になり次第終了)
全国の自治体職員・地域国際化協会職員、NPO/NGO関係者、
その他関心のある方(企業、学生、および一般市民)

- 参加費:無料
※セミナー終了後、別会場にて会費制の懇親会を予定しています。

- 申込方法:下記URLより申込フォームへご入力ください
<https://goo.gl/HWz9VR>



- お問い合わせ:市民国際プラザ 担当:泉水(せんすい)
E-mail: international_cooperation@plaza-clair.jp
Tel: 03-5213-1734



★左記の申込フォームをご利用頂けない方へ★

①～⑤を記載の上、
international_cooperation
@plaza-clair.jp宛にお申し込みください。

- ①件名【11/7セミナー参加申込】
- ②お名前(ふりがな) ③ご所属
- ④ご連絡先(TEL,E-mail)
- ⑤懇親会参加の有無

<開催趣旨>

昨今、様々な社会課題が地域で顕在化していますが、中でも少子高齢化、過疎化の急速な進展への対応は喫緊の課題であるといえます。そこで、こうした課題に対応するアプローチの一つとして、地域における国際協力が果たしうる役割について取り上げます。各地域の培ってきた技術や産業などを開発途上国に移転することで、支援先国の発展や持続可能性に資することはもちろんのこと、結果として、支援を行う側の地域にはどのようなインパクトがもたらされるのでしょうか。

2015年、150を超える加盟国首脳に参加のもと国連本部で『2030アジェンダ 持続可能な開発目標(SDGs)』が採択されました。目標11では、「都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする」と定められており、住み続けられる持続可能なまちづくりの構築は世界共通の課題であると言えます。日本でも、これに呼応して、地域が主体的に「地域のSDGs」を作るといった先進的な取り組みも始まっています。そして、内閣府では持続可能なまちづくりのため、地方創生に資する、自治体によるSDGs達成に向けた取り組みを推進しており、SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業制度も開始しています。本セミナーでは、このような地域や国におけるSDGs達成に向けた動きを軸に、国際協力を通じた地域の活性化の在り方を考える機会とします。

<講師紹介>

■内閣府 地方創生推進事務局 主査 大久保 淳氏

東京都出身。早稲田大学卒業後、日本生命保険相互会社にて人事部、営業企画部、ニューヨークでの米国金融機関での勤務等幅広い業務に携わってきた。現在、内閣府では地方創生に資する自治体SDGsの普及展開・推進に向けた業務に加え、日本国内の「SDGsモデル」の国際社会への発信・展開等の事業に関わっている。



■公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 堀江 由美子氏

共同通信社に勤務後、英国イーストアングリア大学院で農村開発修士号取得。1999年より国際ボランティアセンター山形でカンボジア農村開発事業に従事し、2002年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン入局。2010年より政策提言を担当、SDGsにも関わる。共著に『ミレニアム開発目標：世界から貧しさをなくす8つの方法』（合同出版）



■公益財団法人 愛媛県国際交流協会 外国人相談室長 大森 典子氏

1956年愛媛県生まれ。大学卒業後、愛媛県公立学校教員、海外勤務等を経て、1997より愛媛県国際交流協会に勤務。同協会では、主に外国人相談事業と海外連携事業を担当。現在（一財）自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー、愛媛県地方港湾審議会委員、愛媛大留学生就職促進プログラム推進室アドバイザーを兼務。著書『夢がモリモリ、スリランカ』（近代文芸社）



■NPO法人 ピースウィンズ・ジャパン 東村 康文氏

在東京のNPOで本部事務所や海外駐在を経て、2011年ふるさと島根定住財団地域コーディネーター@邑南町。2013年から、ピースウィンズジャパン広島本部（広島県神石高原町）で、アジア地域のマネジャー。専門は村落給水などコミュニティインフラ。出身は愛媛県、妻の実家の島根県邑南町在住。



■一般財団法人 水への恩返し財団 事務局長 帰山 寿章氏

1962年生まれ。1983年大野市役所入庁。建設課、上水道課、下水道課を経て、2012年湧水再生対策室次長、13年室長、16年建設整備課参事兼職、現在に至る。



■NPO法人 えひめグローバルネットワーク 代表理事 竹内 よし子氏

愛媛県生まれ。高校卒業後、企業・研究所・国際機関等の勤務や渡米経験を経て、現在のNPOを設立。以来、20年の市民活動を通じて、分野横断的なネットワークをつくり、社会のさまざまな課題解決・改善に向けて奮闘中。同時にESD（持続可能な社会づくりのための学び合い）を軸にグローバルな取り組みを展開している。



	プログラムおよび登壇者
13:00	開会挨拶
<話題提供> 13:15~	「内閣府 SDGs未来都市およびSDGsモデル事業について」(仮題) 内閣府 地方創生推進事務局 主査 大久保 淳氏
13:40~	「四国におけるSDGs推進の取組について ~愛媛県内子町の事例~」 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシーマネージャー 堀江 由美子氏
<事例紹介> 14:15~	事例①「えひめ・スリランカ オレンジプロジェクト ~愛媛県の温州みかん栽培技術をスリランカへ~」 公益財団法人 愛媛県国際交流協会 外国人生活相談室長 大森 典子氏
14:40~	事例②「スリランカ紛争影響地域におけるコミュニティ主体の農業・酪農産業の復興支援 ~広島県神石高原町の有機農家と共に~」 NPO法人ピースウィンズ・ジャパン 東村 康文氏
15:10~	事例③「福井県大野市におけるCarrying Water Projectと東ティモール支援」 福井県大野市 一般財団法人水への恩返し財団 事務局長 帰山 寿章氏
15:35~	事例④「松山市発！ モザンビークとつながる四国のESD（持続可能な開発のための教育）」 NPO法人えひめグローバルネットワーク 代表理事 竹内 よし子氏
休憩	
16:10~	<パネルディスカッション> ファシリテーター 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシーマネージャー 堀江 由美子氏
17:20	閉会 ※終了後、別会場にて会費制の懇親会を予定しています